

## 学校教育目標

# 「未来の展望を持ちたくましく生きる人間」の育成

## 具体的努力目標

1. 基礎学力の定着・向上を図る
2. 生徒指導的課題の具体的改善(不登校・問題行動・未然防止)
3. 生徒の主体的活動の推進・支援
4. 多文化共生やジェンダーへの正しい理解をはじめ、鋭敏な人権意識の構築を図る

## 取組内容

### 1. 学力を伸ばす

- ・生徒を引き付ける授業の工夫を図るため、指導方法の工夫・改善に取り組む。
- ・基礎学力向上の取組として、国語・社会・数学・理科・英語の学習教材に取り組む時間を保障し、放課後学習教室の活用を推進する。又、定期的に点検テストを行い、実施教科の評価に取り入れ、生徒・保護者に知らせる。
- ・少人数授業・習熟度別授業に取り組む。
- ・ICT機器等の活用を積極的に行う。
- ・ユニバーサルデザインの視点で授業に取り組み、生徒一人ひとりに応じた支援ができるよう支援教育の充実に努める。
- ・朝の読書の徹底を図り、読書好きな生徒の育成に取り組むと共に、読解力・文章力向上を図る。
- ・家庭学習等、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を育てるための取組みを推進する。
- ・学力調査や学校評価の分析を行い授業改善に反映させる。

### 2. 豊かな心の育成

- ・自立し支え合う集団を育成するため、生徒会の主体的な活動を支援する。
- ・キャリア教育の充実を図ると共に、学校や社会のルールやマナーを身につけさせる。
- ・人権教育・道徳教育・支援教育の充実に努め、差別をしない、差別を許さない人間の育成に努めると共に、豊かな人間関係づくりを目指す。
- ・部活動の充実を図り、異年齢集団での取組を通じて連帯感を深め技術を身につけると共に生徒の個性の伸長を支援する。
- ・環境教育を進める。清掃活動の徹底を図り、清潔感ある学校づくりに取り組む。

### 3. 信頼される学校

- ・学校の教育力を高めるため、学校評議員会・学校保健委員会・学校支援本部・校区連携推進協議会との連携をさらに進める。
- ・校区小学校との連携をすすめ、9年間を見通した教育を進める。  
※小学生の授業体験・クラブ体験、相互授業参観、小中一貫教育推進等は継続する。
- ・小中教職員間の連携を深める。

研修テーマ

「粘り強く取り組む生徒の育成」

～授業づくりの新・深・伸化～